

台本タイトル：The Little Key⇔これは放送されていません。

ここから放送

One day, Anna found a small key in her garden. It was shiny and gold. “What is this for?” Anna said.

She looked around and saw a little door in the tree. The door was old and brown. Anna put the key in the lock. The door opened.

Inside, there was a new world. The grass was soft, and the flowers were big and bright. Birds sang happy songs. Anna smiled. “This is magic,” she said.

A rabbit came to Anna. “Welcome, Anna,” said the rabbit. “This is our special world. You can visit us, but please take care of it.”

Anna said, “I understand.” She played with the animals and looked at the pretty flowers. It was the best day ever.

When the sun went down, Anna went home. She was happy and kept the key in her pocket. She didn’t tell anyone. It was her special secret.

訳タイトル：小さな鍵

ある日、アンナは庭で小さな鍵を見つけました。それは金色に輝いていました。「これは何の鍵だろう？」とアンナは言いました。

彼女は周りを見て、木に小さなドアを見つけました。そのドアは古くて茶色でした。アンナはポケットから鍵を取り出して鍵穴に入れました。ドアは開きました。

中には新しい世界が広がっていました。草は柔らかく、花は大きくて明るく咲いていました。鳥たちは楽しそうに歌っていました。アンナは微笑み、「魔法みたい！」と言いました。

すると、一匹のウサギがアンナのところに来ました。「アンナ、ようこそ」とウサギが言いました。「ここは私たちの特別な世界です。どうか大切にしてください。」

アンナは「わかりました」と言いました。彼女は動物たちと遊び、きれいな花を見て過ごしました。それは今までで一番楽しい日でした。

太陽が沈んだとき、アンナは家に帰りました。彼女は幸せな気持ちで鍵をポケットにしまいました。そして、誰にもそのことを話しませんでした。それは彼女だけの特別な秘密でした。